

光ビジネスが照らすスマートな未来

県内企業を対象に、新しい技術の考案や卓越したアイデア等を表彰する制度。21回目の今年は、7件の応募があり、一次審査の上位4件による公開審査が行われた。

大賞は、小型軽量キーブの

LED照明装置「ホーライト」を開発したバイフォトニクス(株)

(浜松市中区)。太陽光線に近い平行光を発し、自由自在にライトアップが可能。浜名湖館

山寺温泉では500メートル

先の大草山に「大」の文字を浮き上がりせ、観光イベントを盛り上げた。検査照明や建設現場をはじめ、災害時には避難所等で太陽光を使っての応急照明にもなる。審査委員長の大賞は、小澤茂雄社長(株)TOSMO(磐田市)。

芸術家など照明を必要とする幅広い相手先との融合で夢と実益を兼ねた「ユービジネス」を可能にした。大化けするかもしれない期待感と遊び心が

芸術家など照明を必要とする幅広い相手先との融合で夢と実益を兼ねた「ユービジネス」を開発した株)TOSMO(磐田市)。同品は電極を持たない非接触型(誘導プラズマ方式)の

特別賞には「ある」と評価した。

高効率照明「エネブライト」を開発した株)TOSMO(磐田市)。

業の底の広さや厚みを実感させる結果となつた。



池田 貴裕 社長
バイフォトニクス(株)



小澤 茂雄 社長
株)TOSMO

ため、球切れせず、約6万時間の長寿命、省電力を実現した。

バイフォトニクスの池田貴

裕社長は「人生には経験に基づいた運命と、夢や希望によって変わる未来がある」と自身の哲学を語り、TOSMOの小澤茂雄社長は「最初は成功するとは思えなかつた。壁を一つクリアし、少しづつ手応えを確かめながら来た」と開発の道程を振り返つた。若い経営者たちの荒削りの強さやあきらめない気持ちが審査員の心をつかんだようだ。また奇しくも同じジャンルの2社の受賞となり、静岡県西部地区の光産業の底の広さや厚みを実感させた結果となつた。